

平成21年度 事業報告

倉敷芸術科学大学

芸術と科学を融合し、芸術科学（インタラクティブ）の特徴を生かした、21世紀に必要な、考える知識基盤社会の構築に役立つ人材の育成を目指します。

地域になくてはならない大学です。



1. 建学の精神を守り、大学・学部・学科の目的を学則において明確にしました。

2. 20世紀までの知識は「ものづくり」に終始しました。21世紀はそのしわ寄せで、地球規模の環境、エネルギー、資源等問題が起こってきました。それらを解決する為、人文、社会、自然科学及び「おかやま倉敷学」の知識を複合、総合的に身につけた学士（学術）課程教育に力を入れました。

3. IT革命時代に適応し、ITフロンティアスピリットをいろいろな業務処理に活かせる人材を育成を目指し、パブリックマネジメント（公務員等）、ビジネスマネジメント（企業等）を含めた新たな学科への取り組みを行いました。

4. 3学部の融合を図り、芸術インタラクティブアートの特徴を生かした「判断力」の優れた人材の育成を継続して行っています。

倉敷芸術科学大学 学長 添田 喬

教学の充実

■キャリア教育

平成18年度から3年間、現代GPで培ったスキルを基に、「まちなかきゃんぱす」でのデジタル写真整理術など、高齢者や子供に慕われることで、自らの役割を見つけ、自立・挑戦していける職務体験プロジェクトを継続、発展させ、地域に根ざしたキャリア教育を行いました。また、次年度も継続して実践していきます。

■産学連携教育

木材など豊富で再生可能なセルロースを原材料として、溶解成形が可能な耐熱性、耐久性を持つ食品容器、自動車内装材に利用できるバイオマスプラスチックなど企業と連携し、研究開発を行いました。倉敷商工会議所や倉敷青年会議所との包括協定では、都市づくり、産業、観光振興など地域と連携した人材育成を進めました。さらに、今年度内閣府補助金として採択された「地方の元気再生事業産学官民コラボプロジェクト」は、終了しましたが、補助事業で行ってきた倉敷市中心市街地と周辺地域の相互活性化のため、くらしき担い手育成まちづくり支援塾の開催、インターンシップによる地場産業を支える人材の育成を継続して行っています。また、デザイン分野では企

業や行政機関から依頼される製品デザインの製作により、学生の意欲向上となる生きた課題授業を行いました。

■高大連携教育

文部科学省SSH（スーパーサイエンスハイスクール）採択校の玉島高等学校とはIT科学や生命科学分野、総社南高等学校とはキャリア教育や美術工芸分野、岡山理科大学附属高等学校とは美術工芸、デザイン、アニメーション、IT科学分野での連携を引き続き行ない、大学、高校間の境目のない接続教育と本学の教育理念「芸術と科学の協調」の実現に向け進めていきました。

■初年次教育

学習支援センターを中心に入学前の新入生に対し、課題をまとめた冊子や「学習支援センターだより」を作成、送付し、新入生が大学生活に期待や安心感を持ち入学できるよう、入学前準備教育を充実させました。また、1年次前期に基本英語、基本数学、基本化学、基本物理の4科目8単位を、後期には全学年対象の公務員試験（数学）対策講座を加えることにより、初年次教育を充実させました。

■留学生支援教育

日本語教育充実のため、留学生対象の日本語必修科目を4科目8単位追加するとともに、留学生の多い学科では日本語関係科目を選択から必修に変更し、留学生支援教育を充実させました。また、入学前の海外からの留学生に対し、eラーニングによる日本語教材を用いた日本語能力を高める支援を行いました。

教育改革支援事業

■科学Tryアングル岡山

文部科学省「戦略的大学連携支援事業」の採択を受け、岡山、倉敷、津山の3都市にある岡山大学、岡山理科大学、津山工業高等専門学校と本学が、それぞれの科学教育研究資源を結集させた5つのプロジェクトの実行により、児童生徒、大学生、留学生、学校教員、社会人など、あらゆる人々を巻き込み、多角的に科学を見つめ、究め、育み、楽しめる人材及び地域の土壌を培い、本学では先進的な科学教育システムの共同開発を主に担当しました。

■岡山オルガノン

文部科学省「大学改革推進事業」の採択を受け、岡山県内15大学が連携し、(1)教養教育の充実・共同FD・SD活動による「学士力」育成、(2)実践的キャリア指導・社会活動への参画による「社会人基礎力」育成、(3)地域連携による人材育成・地域貢献活動による「地域発進力」育成の3つの力の育成により岡山県から発信される地域創生型の人材育成を進めました。次年度も継続して実践していきます。

■エネルギー環境教育

経済産業省資源エネルギー庁の「エネルギー地域拠点大学」として、教育プログラム、教材を開発し、人材を育成していくと同時に、山陽地域の児童、生徒などにエネルギー環境教育の普及に努力しました。

21年度新設学科・コース

■神戸留学生別科

神戸市東灘区御影町に1年コース60名、1年半コース40名の定員で、神戸留学生別科を開設しました。アジア系外国人を中心に受け入れ、大学の授業をスムーズに受講できるよう、十分な日本語教育を行い、本学だけでなく、関連大学への進学を促しました。

■金融トレーディングコース（起業経営学科）

今や企業だけでなく、生活においても身近な関係になってきた金融の知識を講義で学ぶと同時に仕事体験の実習を行い、将来、銀行や証券会社での活用はもちろん、あらゆる分野での基礎となる素養を養うコースを設置しました。

■アナウンサー・ガイドコース（観光学科）

観光の仕事の基本である「話す」「聞く」技術を学ぶことで、相手の伝えたい情報を上手に聞き出し、相手が知りたい情報を魅力的に伝える方法を修得させ、これにより、ガイドやアナウンサーを目指すだけでなく、社会生活に必要なコミュニケーション能力を身につけた人材を育成するコースを設置しました。

■救急救命士コース（健康科学科）

第一線の現場で発生する様々なケースに対応した人命救助で活躍する救急救命士をより多く養成するため、救急救命実習室を整備し、従来からのカリキュラムを体系化して新たなコースとして設置しました。

申請・届出関係

■学科改組

芸術学部は、平成22年度にマンガ・アニメーションコースを新設し、演出や演技を踏まえた表現を提案できる漫画家、アニメーターやアニメーション作家の育成を目指します。そのため、新たな科目を追加した学則に変更しました。

産業科学技術学部は、現在あるIT科学科と起業経営学科の統合による学科再編を行うため、その前段階として、平成22年度に企業経営コースと情報コースを設置します。そのため、科目を見直した学則に変更しました。

生命科学部は、健康科学科において、平成22年度に健康ケアに関する科目を追加した学則に変更しました。

■通信教育課程募集停止

産業科学技術学部IT科学科（通信教育課程）について募集停止しました。大学院（通信制）については、引き続き募集を行います。

■学部学科の廃止

募集停止していた国際教養学部（教養学科、起業学科、起業学科（通信教育課程））について、年次進行により在学生在がいなくなりましたので、学部を廃止しました。

また、同じく募集停止していた産業科学技術学部生命化学科、起業学科（通信教育課程）について、年次進行により在学生在がいなくなりましたので、学科を廃止しました。

課外活動

■バスケットボール部

(男子)

- (1) 全日本大学バスケットボール選手権大会
中国地区予選優勝 (H21. 10. 14~18)
- (2) 全日本大学バスケットボール選手権大会
出場 1回戦敗退 (H21. 12. 1~8)
- (3) 全日本大学選抜大会へ4名選抜
(H21. 7. 9~14)

(女子)

- (1) 日本女子学生選抜バスケットボール大会
2名選抜 (H21. 7. 9~14)

■柔道部

- (1) 中国四国学生柔道体重別選手権大会
男子66kg級 第4位 (H21. 8. 28~30)
- (2) 全日本学生柔道体重別選手権大会出場
男子66kg級 1回戦敗退 (H21. 10. 10~12)

就職活動支援

■就職ガイダンス・就職対策講座

就職ガイダンスを3年次から年15回、就職対策講座を2日間、公務員採用試験対策講座を5回、4年次生による企業内定者報告会を2回、企業担当者による業界説明会4回、OB・OG報告会を開催しました。8月からはこれらのガイダンスにリクルートスーツでの出席を指示し、早くから学生の意識向上を促しました。

■職業適性・就職実践模試

2、3年次生対象に職業適性自己理解テストを1日5回3日間、SPI適性模擬検査を2回実施し自己分析を促しました。また、就職実践模試(START)エントリーシート攻略テスト6日間、模擬面接(個別、グループ面接)の指導を随時実施し、実践に備えました。

■就職懇談会

2月に企業担当者を招き、学生との個別面談を行う企業懇談会を学内で行いました。また、福岡・東京・大阪・広島で企業担当者と教職員の情報交換会及び加計グループ合同の就職懇談会を開催しました。

学生募集

■オープンキャンパスの充実

昨年好評であった学生主体で企画運営したオープンキャンパス「来てみんな祭」への高校生の誘導を強化するため、県外送迎バスを運行しました。これにより、7月オープンキャンパスへの再訪者、9月オープンキャンパス時のAO入試へとつなげることで受験生を確保しました。

11月のオープンキャンパスは、実際の授業を公開し、大学生活の雰囲気を味わってもらい、より身近な感覚で受験生にアピールして入学者増に努めました。

■新たなホームページの開設

①モバイル(携帯)版ホームページ

高校生の情報収集ツールはモバイル(携帯)が主流となってきております。学部学科情報、入試情報などを動画配信、キャラクター製作、ゲームの配信など、芸術学部の学生による高校生目線のモバイル(携帯)版の新しいホームページを製作し、開設しました。

(<http://www.kusa.ac.jp/jei>)

人事・組織

■学部長等改選

管理運営体制を強化するため、新たに加計悟氏が副学長に、妹尾護教授が副学長補佐に就任しました。

また、昨年度末に副学長及び学部長の改選を行い、本年度より副学長に川上雅之教授（再任）、芸術学部長に田中孝教授、産業科学技術学部長に藤原敏勝教授、生命科学部長に岡田賢治教授（再任）、国際教養学部長に妹尾護教授（再任）が、それぞれ就任しました。

■インターナショナルセンター

神戸留学生別科の設置に伴い、事務組織を改編、留学生別科及び神戸留学生別科に対応する別科事務課を新設、学部、大学院留学生対応の留学生課を学生部から移動、統合して新たにインターナショナルセンターを設置しました。この統合により、留学生へのサービスの一元化、効率化を図りました。

主な行事

4月 5日	入学宣誓式
4月18日	霞祭
6月21日	オープンキャンパス
7月25日 ～26日	オープンキャンパス
9月 5日	教育懇談会（地方会場）
9月12日	教育懇談会（本学会場）
9月24日	留学生別科1年半コース入学宣誓式
9月26日	通信教育課程学位記授与式
10月 3日	オープンキャンパス
10月23日 ～26日	芸科祭
11月16日	就職懇談会（東京）
11月23日	オープンキャンパス
2月10日	就職懇談会（本学）
3月 5日	就職懇談会（広島）
3月12日	就職懇談会（大阪）
3月23日	学位記授与式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成21年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数			収容定員	在学者数			秋期入学 ※	
			留学生	社会人	留学生		社会人				
大 学 院	芸術研究科(博士)	4	1	0	0	12	4	0	0	—	
	芸術研究科(修士)	20	12	0	0	40	28	0	0	—	
	産業科学技術研究科(博士)	4	1	0	0	12	3	0	0	—	
	産業科学技術研究科(修士)	16	10	0	0	32	15	0	0	—	
	人間文化研究科(修士)	15	7	4	0	30	12	8	0	—	
	大学院 計	59	31	4	0	126	62	8	0	0	
学 部	芸術 学部	美術学科 (募集停止)	—	—	—	80	78	0	2	—	
	美術工芸学科	40	37	1	0	85	83	1	0	—	
	メディア映像学科	30	26	0	0	140	142	0	0	—	
	工芸・デザイン学科 (募集停止)	—	—	—	—	70	53	0	0	—	
	デザイン学科	30	41	2	0	65	74	2	0	—	
	計	100	104	3	0	440	430	3	2	0	
	技術 学部	IT科学科	30	20	4	0	170	124	7	0	—
	生命化学科 (募集停止)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	起業経営学科	30	39	31	0	130	127	74	1	—	
	観光学科	45	58	36	1	85	100	64	3	—	
計	105	117	71	1	385	351	145	4	0		
部 教	養国 学際 部教	教養学科 (募集停止)	—	—	—	—	—	—	—	—	
	起業学科 (募集停止)	—	—	—	—	1	0	—	—		
	計 (募集停止)	—	—	—	—	0	1	0	—		
生 命 科 学 部	生命科学科	45	42	0	0	265	290	1	0	—	
	健康科学科	60	55	0	0	240	241	0	0	—	
	生命動物科学科	65	77	0	0	241	276	0	0	—	
	生命医科学科	45	67	0	1	85	106	0	1	—	
	計	215	241	0	1	831	913	1	1	0	
学部 計		420	462	74	2	1,656	1,695	149	7	0	
通学制 合計		479	493	78	2	1,782	1,757	157	7	0	
大 学 院 (通 信 制)	芸術研究科(修士)	10	2	0	1	20	6	0	4	—	
	産業科学技術研究科(修士)	20	1	0	1	40	1	0	1	—	
	人間文化研究科(修士)	30	4	0	3	60	9	0	6	—	
	計	60	7	0	5	120	16	0	11	0	
学 部 (通 信 教 育 課 程)	産業科学技術学部	200	4	0	1	1,300	36	0	17	—	
	国際教養学部 (募集停止)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計	200	4	0	1	1,300	36	0	17	0	
通信制 合計		260	11	0	6	1,420	52	0	28	0	
総合計 (通学制+通信制)		739	504	78	8	3,202	1,809	157	35	0	
留 学 生 別 科	留学生別科	40	35	35	—	40	36	36	—	21	
	神戸留学生別科	100	75	75	—	100	75	75	—	36	
	留学生別科 計	140	110	110	0	140	111	111	0	57	

※ 秋期入学については、5月2日以降(平成21年5月2日～平成22年3月31日)に入学した者です

(単位:人)

■卒業者数等一覧

(平成21年度)

区分		修了者・ 卒業者	満期 退学	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者
大学院	博士	1	1	0	0	-	-
	修士	25	-	10	8	80%	2
学部		384	-	248	220	89%	28
大学院(通信制)		6	-	-	-	-	-
学部(通信教育課程)		6	-	-	-	-	-
留学生別科		102	-	-	-	-	97

(単位:人)

主な就職先	(株)スタジオ雲雀、(株)ガイナックス、(株)サンライズ、(株)トーヨータイヤジャパン、JFEスチール(株) (株)ゆうちょ銀行、東京消防庁、岡山警察本部、倉敷市消防局 他
-------	---

■教職員数

(平成21年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計
1	2	75	19	16	5	3	121

事務職員

56

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度	21年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入		2,794,541	2,688,645
補助金収入		492,598	472,023
その他収入		109,875	152,542
帰属収入合計		3,397,014	3,313,210
基本金組入額合計		△ 12,363	△ 28,487
消費収入の部合計		3,384,651	3,284,723
人件費		2,233,806	2,203,001
教育研究経費		1,155,837	1,113,874
管理経費		262,501	268,688
その他支出		21,990	25,903
消費支出の部合計		3,674,134	3,611,466

■施設設備整備状況(抜粋)

(単位:千円)

事業名	金額
トイレ改修工事(女子、人感センサー)	4,600
ネットワークLAN整備工事(1号棟)	1,575
土地及び建物取得事業 (ヘルスピア倉敷)	土地 264,000 建物 69,300
スロボ [®] 機器一式	3,843
魚類の環境実験設備	11,353
小動物飼育ラックシステム	6,930
生体活動レベル循環動態解析式呼吸代謝測定システム (文部科学省補助金(21,000千円))	31,500
顕微鏡用冷却加熱延伸観察ステージ [®] (科学Tryアングル岡山補助機器)	5,490
XDCAM EX カメラ(科学Tryアングル岡山補助機器)	1,686
2号4階CALL教室システム8席追加	4,180
AV音響映像システム(2301教室)	1,980